

研究課題名	脳卒中センターにおける軽症脳梗塞患者に対する退院支援についての調査検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院薬剤部 宗山 真梨奈 細谷 龍一郎 日野 斉一 武蔵野赤十字病院看護部 丹藤 とも子
研究責任者	薬剤部 細谷 龍一郎
研究期間	平成 28年 8月 ～ 平成 29年 8月
研究の意義・目的	<p>脳卒中後の患者は、薬の理解度だけでなく運動失調や認知機能の低下などもあり、薬の自己管理が困難な場合が多い。入院時のNational Institutes of Health Stroke Scale (NIHSS) が4点以下の軽症脳梗塞患者は自宅退院するケースが多く、退院後も内服継続ができる服薬支援が必要である。平成28年度診療報酬改定により、脳卒中ケアユニットにおいても薬剤師の介入がますます求められるようになったが、脳卒中後の患者と薬剤師の関わりについての報告は少ない。</p> <p>武蔵野赤十字病院（以下、当院）の脳卒中センターでは、軽症脳梗塞患者退院支援フローシートの一環として、薬剤師による持参薬確認と入院4日目の服薬指導および退院支援が組み込まれている。</p> <p>今回の調査では、軽症脳梗塞患者の服薬管理状況を多職種間で評価した。その結果を踏まえ、薬剤師から個々の患者の理解力や管理方法に合わせた剤形や包装形態、用法や管理者の変更を提案し、介入結果やその内容を評価することを目的とした。</p> <p>本調査の結果から、薬剤師の脳卒中ケアユニットでのニーズと役割を把握し、多職種で情報を共有しながら脳梗塞患者の服薬支援、退院支援に貢献できると考えられる。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>【1】 患者抽出（対象期間 2015年4月1日～2015年9月30日） 当院脳卒中センターに入院した患者のうち、脳梗塞または一過性虚血性発作入院し、入院時のNIHSSが4点以下の患者を、軽症脳梗塞患者退院支援フローシートおよび薬剤師記録より抽出する。</p> <p>【2】 患者登録 前項で抽出した患者を対象に患者登録をおこなう。その際は連結可能匿名化方式を用いて登録を行う。</p> <p>【3】 臨床データの収集 対象患者の年齢、性別などの基礎情報に加え、入院時のNIHSSとその加点理由、原因疾患、入院前の内服薬の内服状況や服薬アドヒアランス、退院後の服薬管理など、その他必要と認められる事項をカルテより抽出する。この際、個人情報保護のため、各被験者の匿名化を厳重に行う。</p> <p>【4】 治療効果、解析 薬剤師の介入率やその介入による効果などを集計し、2変量の統計解析を行う。解析にはMicrosoft Excelを用いる。</p>
個人情報の取扱い (匿名化する場合はその方法を含む)	<p>登録患者の臨床データの送付および形跡結果の報告は、研究登録時に発行される登録コードを用いて行われるため、患者の氏名、住所などの個人情報が他の施設に報告されることや公表されることはない。また患者登録は連結可能匿名化方式を用いて行う。個人情報の管理を厳格に行うため、知り得た情報を病院外に持ち出すことはない。個人情報を扱った情報はUSBメモリーに保存し、武蔵野赤十字病院薬剤部内の施錠可能な場所に保管する。保存期間は研究終了より10年間とし、その後データを破棄する。保管管理者は武蔵野赤十字病院薬剤部 細谷 龍一郎薬剤師とする。</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 薬剤部 細谷 龍一郎 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>